

# 復習シート 第五学年 国語



組	番号	名前

## 【司会の役割や話し手の意図を捉える問題】

かおりさんのクラスでは、「自分たちが住む町について調べよう」というテーマで新聞作りをしています。かおりさんの班は、町の特産品であるいちごについて、いちご農家の方にインタビューすることになりました。かおりさんたちはどんなことをインタビューすればよいか話し合いをしています。【話し合いの一部】を読んで、あとの問いに答えましょう。

### 【話し合いの一部】

かおり	いちご農家の方にどんなことを聞きたいですか。
ゆうき	ぼくは作っているいちごの種類を教えてください。
ひろこ	わたしはどのくらいの量を作っているのか知りたいです。
さやか	わたしもいちごの種類や量について気になります。でも、せっかく農家の方にインタビューするのだから、作っている人にしか分からないことを質問したらどうですか。
りょう	そうですね。ぼくは、
かおり	それはいい質問ですね。農家の方ならではの喜びや苦勞が聞けるかもしれませんね。他に何か聞きたいことはありませんか。

（話し合いは続く）

## 【R2】 復習シート 小学校5年 国語（話すこと・聞くこと）

(1) ー線部のさやかさんの発言は、どのような発言でしょうか。次の1から4の中から最もふさわしいものを一つ選んで、その番号を書きましよう。

### レベル8

- 1 出された意見を内容によって整理して、分かりやすくしたものを
- 2 出された意見に反対して、自分の意見を通そうとしたものを
- 3 出された意見をまとめて、話し合いを終わらそうとしたものを
- 4 出された意見をみとめながら、他の視点で聞きたいことはないか考えさせようとしたもの

(2) りょうさんはどのような発言をしたのでしょうか。話し合いの様子から考えて、次の1〜4の中から最もふさわしいものを一つ選んで、その番号を書きましよう。

### レベル7

- 1 いちごを作っていて楽しいことや、反対に大変なことを聞きたいです。
- 2 どうしたらおいしいいちごが作れるのかを聞きたいです。
- 3 ほかの町で作っているいちごとどこかちがうのかを聞きたいです。
- 4 何人でいちご作りをしているのかを聞きたいです。



# 復習シート 第五学年 国語



組	番号	名前

【必要な情報を見つけて読む問題】

新聞委員の山田さんと川上さんは、「ごみゼロの日」について特集した内容を六月号の学校新聞に書こうと考え、次の【資料】を見つけました。これをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

【資料】段落のはじめにある数字は、その段落の番号を示しています。

「ごみゼロの日」はどんな日？

- わたしたちは、毎日のくらしの中でたくさんのごみを出しています。たくさんのごみをどのようにして処理するのかわ。これは、昔から大きな課題でした。
- 一九七十年代に、ある市で、ごみをゼロにする運動「530運動」が始まり、しだいに全国に広まりました。この「530運動」と「ごみ（5）み（3）ゼロ（0）」の語呂が合うという理由から、五月三十日が「ごみゼロの日」となったそうです。
- 「ごみゼロの日」は、ごみをへらしてリサイクルをおし進める日として、多くの団体や企業で、ごみゼロの日の活動が行われるようになりました。
- これらの取組は、国でも注目されるようになり、一九九三年には「ごみ減量化推進週間」が正式に定められました。現在は、五月三十日から六月五日が「ごみ減量・リサイクル推進週間」とされています。
- このように「ごみゼロの日」は、ごみの問題を何とかしたいという人々の活動から生まれた日だということです。

（問い）

一 山田さんは、「なぜ五月二十日が『ごみゼロの日』なのか」についてまとめています。山田さんは、【資料】のどの段落を中心に読めばよいですか。最も適切な段落を【資料】の中から一つ選んで、その番号を書きましよう。 **レベル7**



二 川上さんは、「『ごみゼロの日』は、どのようなことをする日なのか」についてまとめています。【資料】の中からその説明がされている部分を十九字で探し、はじめと終わりの五文字を書きぬきましよう。 **レベル5**


（ ）


# 復習シート 第五学年 国語



組	番号	名前
---	----	----

【ことわざの意味を理解して、自分の表現に用いる問題】

1

古川さんは、ことわざの意味を辞書で調べて、ことわざカードを作っています。次の **ア** に入ることわざの使い方の例として最も適切なものを、あとの1から3までのの中からそれぞれ一つ選んで、その番号を書きましよう。

## 三度目の正直

（意味） 一度や二度で思い通りにならなくても、三度目ではうまくいくものだ。

（使い方の例）

ア

1 どんなに得意なことでも、時には失敗することもあるよ。三度目の正直だよ。

2 多くのものを一度にやろうとするとうまくいかない。三度目の正直だね。

3 一本めと二本めのシュートは外れたけど、次は決まるよ。三度目の正直だよ。

レベル6

## もちほもち屋

（意味） 何事も、それぞれのせん門家や得意な人にまかせるのが一番だ。

（使い方の例）

イ

1 もちほもち屋と言うように、人の好みはいろいろで、しゅみはいろいろあった方がよい。

2 もちほもち屋と言うように、卓球の審判なら卓球クラブの友達にたのむ方がよい。

3 もちほもち屋と言うように、好きな作家の本を見つけたら時間を気にせず読んだ方がよい。

レベル6

